

法律学専攻

Graduate School of Law / Major in Law

募集人員：修士課程 20名／博士後期課程 5名 | 開講形態：**昼間・夜間** | キャンパス：市ヶ谷
主な進路：公務員、金融、情報通信、サービスなど

高度な専門性と柔軟な法的思考、 他者への思いやりをもって社会貢献を目指す。

少子高齢化、グローバル化など、私たちを取り巻く環境が大きな転換期を迎えた現在、法律学を理論的に追究することの社会的意義は、日々高まっています。そこで本専攻では、(1) 社会に生起する紛争(もめごと)に対し、多様な法的観点からの分析に基づいて柔軟に解釈・適用できる能力、(2) 社会秩序の維持に必要な公正な法論理を構想できる能力、(3) 個人の権利保障の実現に貢献できる能力、などを身に付けるべく理論的検討を行います。こうした学修は研究者としての基礎力となることはもとより、高度職業人、法科大学院修了者や法曹にとっても有益な、深い洞察に基づく法的思考を養います。私たちはそのための多彩な講義・演習科目を配置し、皆さんが希望する分野の最近かつ深い知識を身に付けることができるようにしています。

本専攻は、現代社会の多様な問題を法的に分析し、法的な思考過程を経て最善の解答を生み出す能力を養成します。学界を代表する研究者、良き法的思考を備えた高度職業人の育成が目標です。

アドミッション・ポリシー

(学生の受け入れ方針)

「自由と進歩」の建学の精神と教育目標、学位授与の方針に照らし、既成概念にとらわれず自由な発想で考え、新しい問題に積極的にチャレンジする創造的意欲を持った者、他者への思いやりを備え、自己の知識や能力を社会に役立てる意欲を持った者を受け入れることを基本方針とする。
※2014年度より、修士課程において、一般入試・学科内入試に加えて、外国人入試および社会人入試を導入しました。

カリキュラム・ポリシー

(教育課程の編成・実施方針)

法律学自体が強い体系性を有していることを反映し、一定のメニューをそろえている。法の基本原理や歴史的沿革を探究するものから現代の新たな法現象を扱うものまで多様性に富んだカリキュラムを編成。また、比較法的な知識の獲得のため、英・独・仏を中心とした原典研究も配置している。授業は、少人数ゼミ形式で、学習成果を討論で鍛える。論文指導は、学界をリードする教授陣によるマンツーマン方式で行う。

※2017年度より、修士課程・博士後期課程とも Semester制、コース制に移行します。また同年度より、博士後期課程も単位制になります。

ディプロマ・ポリシー

(学位授与の方針)

時代の先端をいく専門分野の法律知識の習得に加え、比較法的な知識を活用して柔軟な法律の解釈・適応ができること。多様な言語を用いて自己の意見を説明し、他者に配慮しながら積極的にコミュニケーションが取れること。研究者、高度職業人としてこれらの基礎力を身に付けていることを、学位授与に当たっての基本方針とする。

研究室紹介

国際法における自衛権および緊急避難 —非国家行為体に対する越境軍事行動をめぐる—

田中准教授 | 国際法における自衛権および緊急避難に関する研究

安全保障をめぐる従来の議論は主として外国国家からの攻撃の危険を想定してなされてきたが、さまざまな集団・個人によるテロ行為に各国が悩まされ続けている今日、非国家行為体に対する越境軍事行動がどのような法的根拠に基づいて認められるのかを明らかにすることは、国際法学における喫緊の課題である。これに取り組むべく、自衛権概念と緊急避難概念の交錯、その展開・整理の過程の解明を目指している。大学院の授業では、この問題を含む幅広い国際法上の論点を扱う。留学生との議論を交えつつ、文献の内容を正確に理解しさらに批判的に検討する力を養うためのトレーニングを行っている。

※本専攻には、このほかに憲法や民法、法哲学などのさまざまな分野を扱う研究室があります。



Voice



修士課程 2014年度修了
勤務先：山梨県庁
本田 紘一

【研究テーマ】
「解雇の金銭解決制度」について

教授陣のきめ細かな指導で得られた知識と、 論理的な思考力が、現在の業務に生きています

大学院の魅力

大学院の魅力は、学生一人に対する教授陣の数が多く、きめ細かなご指導を受けることができる点にあると思います。自己の研究分野に対する高度な知識を取得できるだけでなく、多様な分野の幅広い視点から自己の研究を見つめ直すことで、身に付けた知識をさらに深めることができます。また、学生の年齢構成もさまざまなので、多種多様な意見に触れることも魅力だと思います。

学んだこと、身に付いたこと

大学院で身に付いたことは、論理的な思考力と文章の作成能力です。毎回のレジュメ作成や修論を執筆する際には、論理的な矛盾がないよう気を付けながら作成する中で、自然と論理的な思考力を養うことができました。公務員の業務では、論理的な思考に基づく企画立案能力が求められるので、大学院で身に付けた論理的に文章を作成する力がとても今の仕事に役立っています。

専任教員と担当科目 (2016年度) ※年度により授業を持たない場合があります。 専 専門領域 研 研究テーマ 担 担当科目

荒谷 裕子 教授 専 商法、金融商品取引法
研 金融商品取引法上の諸問題の研究。株式会社との機関に関する研究
担 ※今年度は、特定の科目を担当しません

大野 達司 教授 専 法哲学
研 法の妥当性、法の動態、自治、ドイツ法・国家思想
担 法哲学特殊講義 法律学原典研究第2

神谷 高保 教授 専 会社法・商法・海商法・保険法・信託法・法と経済学
研 取締役の責任・内部統制など、利得禁止原則・新保険法、共同海損など、信託法・医療と法など、商法法制史、法学(大学・古典)教育
担 ※今年度は、特定の科目を担当しません

川村 洋子 教授 専 民法の所有権法と契約法
研 契約損害賠償制度を軸とする日本民法の約束保障制度の比較法研究
担 民法演習

倉部 真由美 教授 専 民事訴訟法・倒産法
研 民事再生手続や会社更生手続のような再建型倒産手続における担保権の処遇
担 ※今年度は、特定の科目を担当しません

高橋 滋 教授 専 行政法、環境法
研 行政法、環境法
担 ※今年度は、特定の科目を担当しません

建石 真公子 教授 専 憲法
研 憲法と条約の関係、フランスの基本権に対するヨーロッパ人権条約の影響、「家族形成権」と「生命に対する権利」における「個人の尊重」
担 憲法演習 憲法論文指導A

椋川 泰史 教授 専 商法・会社法・有価証券法・決済取引法
研 決済取引の法的問題
担 商法特殊講義第1

沼田 雅之 教授 専 社会保障法、労働法
研 有期労働契約、労働者派遣、非正規労働者の社会保障加入など、非正規労働者の労働法・社会保障法上の課題研究
担 ※今年度は、特定の科目を担当しません

藤本 茂 教授 専 労働法
研 雇用平等法、労働契約法
担 労働法演習

森田 章夫 教授 専 国際法
研 国際コントロール、国際海洋法、国家管轄権の域外適用
担 ※今年度は、特定の科目を担当しません

佐藤 輝之 准教授 専 刑事法
研 危険犯論、社会的法益に対する罪
担 ※今年度は、特定の科目を担当しません

※上記の専任教員のほかに、今井猛哉教授(刑事法)、柴田和史教授(商法)、田中開教授(刑事法)が、博士後期課程の研究指導を担当します。

設置科目 (2016年度) ※開講科目は年度により異なります。()内は単位数

<p><修士課程> 法哲学特殊講義(4) 法制史特殊講義第1/2(各4) 英米法研究(4) 比較法特殊講義(4) 法律学原典研究第1~3(各4) 憲法特殊講義(4) 憲法演習(4) 行政法特殊講義(4) 行政法演習(4) 教育法特殊講義(4) 税法特殊講義(4) 現代情報法特殊講義(4) 国際法特殊講義(4) 国際人権法特殊講義(4) 民法特殊講義第1~3(各4)</p>	<p>民法演習(4) 民法重点講義(4) 商法特殊講義第1~3(各4) 商法演習(4) 経済法演習(4) 民事訴訟法重点講義(4) 民事訴訟法特殊講義(4) 民事訴訟法演習(4) 裁判法演習(4) 破産法特殊講義(4) 国際私法特殊講義(4) 労働法特殊講義(4) 労働法演習(4) 社会保障法特殊講義(4) 刑法特殊講義(4) 刑法演習(4)</p>	<p>刑事訴訟法特殊講義(4) 刑事訴訟法演習(4) 刑事政策演習(4) 弁護士倫理(4) 憲法論文指導A/B(各4) 民法論文指導A/B(各4) 刑法論文指導A/B(各4) 商法論文指導A/B(各4) 民事訴訟法論文指導A/B(各4) 刑事訴訟法論文指導A/B(各4) 行政法論文指導(4) 破産法論文指導(4) 労働法論文指導(4) 国際法論文指導(4) 特殊講義(4) 特殊演習(2)</p>	<p>総合重点講義(4) 総合効果測定(4) <博士後期課程> 基礎法特殊研究 商法特殊研究Ⅰ~Ⅲ 商法特研演習Ⅰ~Ⅲ 経済法特殊研究 経済法特研演習 民事訴訟法特殊研究Ⅰ/Ⅱ 民事訴訟法特研演習Ⅰ/Ⅱ 民事訴訟法論文指導A/B(各4) 民法特研演習Ⅰ/Ⅱ 憲法特研演習Ⅰ/Ⅱ 行政法特殊研究 行政法特研演習 国際法特殊研究 労働法特殊研究Ⅰ/Ⅱ 労働法特研演習Ⅰ/Ⅱ 刑法特研研究Ⅰ/Ⅱ</p>	<p>刑法特研演習Ⅰ/Ⅱ 刑事政策特殊研究 刑事訴訟法特殊研究Ⅰ/Ⅱ 刑事訴訟法特研演習Ⅰ/Ⅱ 基礎法特研演習 比較法特殊研究 比較法特研演習 憲法特殊研究Ⅰ/Ⅱ 憲法特研演習Ⅰ/Ⅱ 行政法特殊研究 行政法特研演習 教育法特殊研究 国際法特殊研究 民法特殊講義 民法特殊研究Ⅰ~Ⅳ 民法特研演習Ⅰ~Ⅲ</p>
---	--	---	---	--